

桜台タイムズ



2000年（平成12年）11月

発行：桜台自治会

市原市桜台1丁目5-1

発行責任者 広報部長：土屋 清孝

【桜台自治会創立20周年記念特集号】

創立20周年を祝して

市原市長 小出善三郎

桜台自治会が、記念すべき創立20周年を迎えられますことは誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。貴自治会は、昭和56年に創立されて以来、歴代役員をはじめ、会員の皆様の御熱意と御努力により、周辺地域に誇る素晴らしいまちを創りあげてこられました。まちづくりは、先人が培った地域の貴重な歴史や文化、自然等を生かし、住民自らが、ふるさとに対する誇りと愛着を深め、築き上げていくものであります。魅力的なまちに住みたいという思いは、全ての人々の共通の願いですが、精神的なゆとりと豊かさを実感できるまちこそが、真の故郷であると存じます。



桜台周辺には、江戸時代からの道、久留里西往還があります。当時は、姉崎から久留里に通じる道として、大名が参勤交代のときに通った殿様道でありました。この地に20年前、大規模開発により誕生した貴自治会は、全町一体の自治会を組織し、新たな故郷づくりを推進されてこられました。平成9年には、市が地元の意向を受け、桜台雨水調整池に八橋や遊歩道をつくり、水緑景観を整備いたしました。春には、周囲を満開の桜が彩り、まさに桜台の町名の如く美しい景観を醸し出しております。

現在、本市では、2001年（平成13年）～2005年（平成17年）までを計画期間とする『新5か年計画』の策定作業に入っております。この実施計画は、いわば21世紀の市原市を総括することにより、市民生活に即した施策展開を図る

ものであります。

変動する社会情勢を受けて、行政課題は複雑多岐となっておりますが、新しい時代の息吹をとらえ、21世紀のふるさと市原の礎を築くため、対話と協働による市民本位の市政運営に全力で取り組んでまいりたいと存じます。

結びに、桜台自治会のますますの御発展と会員各位の御健勝と御多幸を祈念し、お祝いのごことばといたします。

創立20周年を祝して

椎の木台自治会

会長 須藤 明

桜台自治会の創立20周年をお祝い申し上げます。貴自治会は、近隣自治会の中において大自治会組織であり、常に地域社会の発展と活性化にあたって他自治会をリードしてこられました。特に大団地の抱える様



々な問題についての取り組みについて、和田会長さんをはじめ自治会役員の方々の熱意とご尽力に深く敬意を表します。今後、少子高齢化時代を迎え、社会環境も大きく変化すると思われる中において、地域コミュニティ作りが大切で有り、当自治会としても貴自治会との役員交流会を更に充実し地域の活性化に寄与して行きたいと思っております。幸い貴自治会々員によるとボランティア組織と当自治会のボランティア組織との交流も行われており、共に地域社会の福祉ボランティア活動が諸団体より高く評価されています。

今後これから組織をもふくめての交流も大切であると思っておりますので貴自治会のご協力と

ご指導を賜りたいと存じます。

結びに貴自治会の業績の更なるご発展と会員各位のご多幸を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

記念号発行にあたって

桜台自治会
会長 和田 幸三郎

桜台自治会は、創立20周年を迎えました。創立時510名余で発足しましたが現在は1245世帯（4200名余）の会員を擁し、市原市で五指に入る大団地自治会としてその運営の積極的パワーを保持して居ります。ここ迄こられたのも、会員および歴代役員の方のご協力とご努力の賜物で深く感謝申し上げます。本記念号で取り上げました、団地内統計資料が示す通り、高齢化・少子化問題や福祉、介護問題、生活環境の悪化等直面する課題が山積して居ります。20周年を1つの節目として、今迄よりもっと広く人材を求め、その知的能力を結集し、自治会の対処能力の専門化、高度化をはかりたいと考えています。



理念を高く掲げ、目標に向かって日々努力する事が自治会としての努めと信じます。終わりになりましたが本誌巻頭に小出市長の御祝いの言葉を飾らせて頂きました。誠に光栄に存じ御礼申し上げます。

今後の自治会活動を考える

桜台自治会
副会長 浅野 進

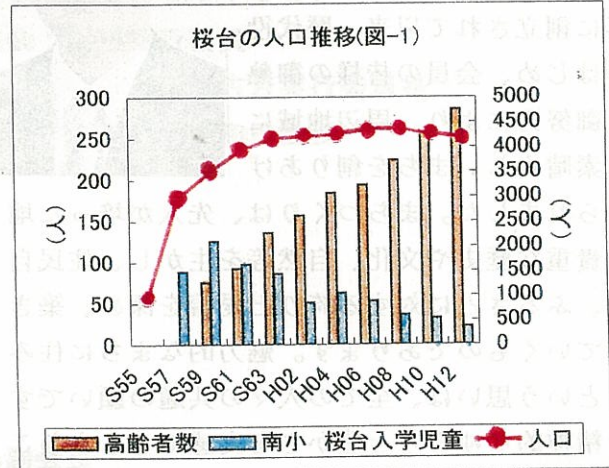
20年前、桜台の我々の諸先輩は、熱きボランティア精神と強い使命感を帯びて、桜台自治会を創設して大自治会組織の礎を築きあげた。そして今では、周囲の町会に誇れるまでに成長した。今日に至るまでには諸先輩におかれては筆舌しがたい苦労は山ほどあるだろうが、会員サービスの向上に務め、色々な問題の処理に汗してこられたことに大いに感謝し、且つ賞賛をする。近年の社会環境の激変は当自治会へも影響を与えている。高齢化社会への対応や地域社会

との連携が重要になってきている。地域問題は自治会運営へ波及し自治会の問題は地域社会の問題であるといいきれるまでになってきた。これからの自治会活動を考える上で、重要な基礎データとなる『桜台の人口動態』をみて、今後の活動の根幹を為すであろう福祉活動と地域社会との連帯及び情報公開についてクローズアップした。

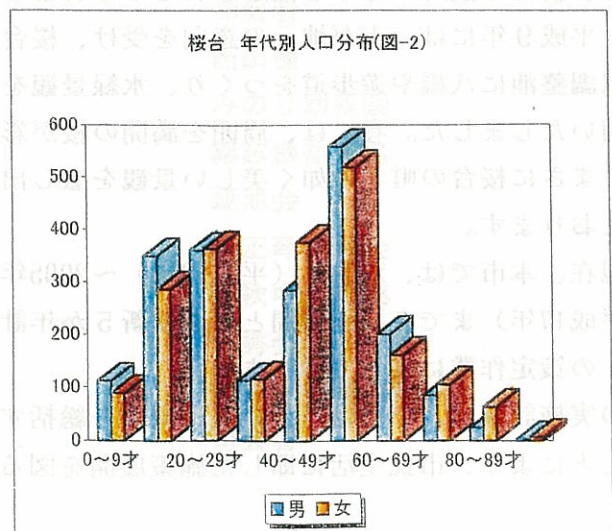
1. 桜台の人口動態

どんどん進む少子化、高齢化社会は大きな社会問題である。桜台住民にとっても深刻である『図-1』は桜台の人口推移を表したもの。

(平成12年4月現在、市・南小のデータによる)



昭和63年と平成12年を比較すると人口は4200人前後ではほぼ変わらないが、有秋南小の桜台地区の入学児童は86名から22名と1/4へ減少している。反対に70歳以上の高齢者は136名から285名と倍増している。『図-2』は、年代別人口分布を表したもの。30歳代以下と40歳代以



上に大きく2分布化している。10年後、20年後は一層の高齢化が進み若人の町ではなくなり、自治会としての体力の低下も懸念される。そのため今すぐにも自治会活動の活性化を求めなければならぬ。

2. 福祉ボランティアへの参加を

平成12年4月に施行された介護保険制度は、行政と公益法人は勿論のこと、民間営利業者に加えてNPO（非営利組織）や公的ボランティアの活動に、その多くが支えられている。桜台における公的ボランティアとして民生委員・児童委員・母子福祉推進員等々がそれぞれ配置され活躍されておられるが人数的に非常に少ない。

高齢者が多数派となる21世紀は既存の団体だけではカバーしきれない。市民の参加は益々歓迎されるだろう。桜台の青年・婦人の方々による民間福祉ボランティアが自然発生的に生れることを望みたい。しかし高齢化の速度は、待望時間を許さなくなっている。

自治会は民間福祉ボランティアの組織化、育成をリードする必要があると考える。該グループの組織化が成った暁には、桜台の独居老人の一声ケア、話相手あるいは老人ホームの慰問や世話活動等で活躍されんことを！

我々の親もそれぞれに生活する地域で、しいては我々自身が公的あるいは該グループの世話になることがあるかもしれない。互助の精神を皆で少しづつ出し合おう。

3. 地域社会との連帯

この度の記念式典において、市原市消防団姉崎支団第8分団へ感謝状を贈呈した。これは地域消防の立場で、桜台が誕生した時から監視をしてくださった行為に感謝の意を表したものだ。

また他の3名の方々も桜台を含む周辺地域と連携して、多年に亘り御活躍されて桜台の名声を高めてくださったことに関しての謝意を表したものだ。

このように自治会活動は地域社会と密接な関係を持っている。そして来る高齢化社会は尚のこと、防災活動に限らず防犯、環境保護は共同歩

調をとらなければならない。地域社会に垣根はない。そのためには日頃の意志疎通、交流の積み重ねである。一たび事が発生した時には、近隣町会との協力、連携プレーを円滑に進めなければならない。また大団地には大団地特有の問題を抱えていることも事実である。近隣の大団地との情報交換をして自治会運営へ反映させることも肝要である。

4. 一層の情報公開を

桜台自治会の大組織を活かすも殺すも自治会役員と会員のやる気に掛かっている。両者をつなぐのは、情報の伝達である。しかし、過去の情報公開のレベルは、決して満足のいかない面も少なからずあった。情報は可能な限り生がよい。そのためにも役員は、班長会の議題は新鮮な議題を揃えて活発な討議、報告、連絡ができるように心掛けなければならない。加えて本年になり、やっと自治会広報誌の発行に漕着けた。これからはこの灯を消さないように会員のバックアップをお願いしたい。そして役員は広報紙をベースに諸々の伝達方法を駆使して、正しい情報をスピーディに会員へ伝達することを肝に銘じなければならない。このように情報を共有化することで、自治会役員と会員の距離が近くなり風通しが良くなると確信する。自治会活動が活性化して、福祉活動や地域社会との連帯への理解が得られて好影響へつながることを期待する。

桜台団地開発時写真集

昭和54年6月竣工

桜台公園

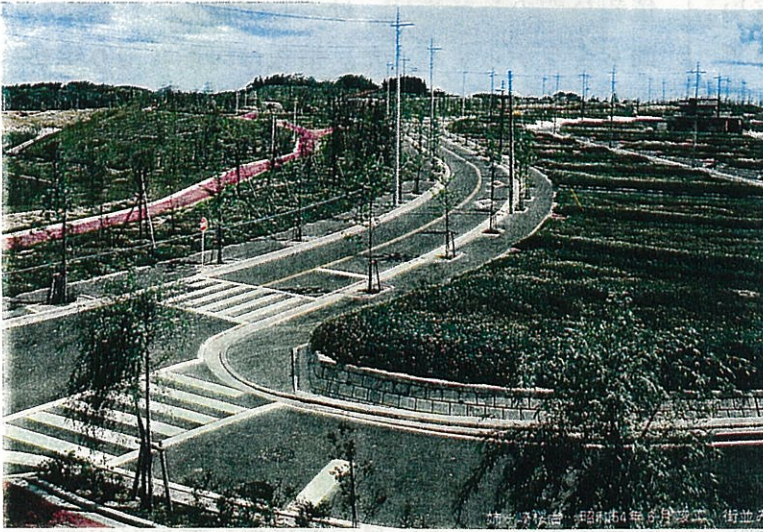


姉崎桜台 昭和54年6月竣工 桜台公園

桜台全体



桜台街並み



昭和57年、有秋南小学校開校



◆ 昭和57年、第1回桜台大運動会



◆ 昭和63年、子供神輿祭り



◆ 昭和61年、子供神輿祭り

盆踊り・敬老会



◆ 平成3年、盆踊り



◆ 平成6年、子供神輿祭り



◆ 平成9年、敬老会



◆ 平成12年、夏祭り (盆踊り・子供神輿)



地域活動功労者

プロフィール

地元消防団

<姉崎第8分団>

1. 正式名称；市原市消防団姉崎支団第8分団
2. 創 立；昭和62年新体制により第8分団として設立。
3. 分担エリア；山谷・深城・天羽田・緑町会・椎の木台・桜台（計6町会）
4. 組 織；分団長・副分団長・部長・班長2名・団員（19名）計24名
5. 保有機材；普通消防車（1台）・ポンプ、ホース（10本）他。
6. 活動内容
 - ◇ 消防実出動；姉崎支団エリア内の火災に対してはその都度出動し、市消防の支援を実施。…年間数（10回）
 - ◇ 夜警（自主防災）；強風時20:00～21:00の間、上記6町会を巡回パトロールし、その後23:00まで待機（4～5名）…年間100日以上。
 - ◇ 消防栓、取水口等の点検を年2回実施。
 - ◇ 小型ポンプ操法訓練；平成12年度は市原市代表として県大会に出場し見事最優秀賞を受賞されました。…年間100日以上。

《推薦のこトバ》

8分団を構成されている方は、山谷・深城・天羽田町会に在住の24～40歳（原則として長男）の方だそうです。

自営業、会社勤めの方等色々ですが、地域防災の使命感から、日々の訓練・点検・整備・巡回パトロールそして実出動等地道な活動を苦勞をいとわず実行されています。

桜台では、今まで大きな火災事故は発生していないこと、又今後も継続して防災上安心な生活が送られることに対して感謝の意を表したいと思います。

川井 文夫氏 [かわい ふみお]

《活動経歴》

昭和57年4月有志に依り少年野球チーム桜台ライガース設立。結成目標として青少年健全育成と野球技術の向上、マナーの育成を基本に創立。以来20年間にわたり、コーチ・監督を経て昭和61年より平成12年2月まで部長(代表)を勤められました。今年3月より会長に就任されております。

昭和61年2月 市原市少年野球協会賞受賞

平成元年2月 市原市長賞受賞

同 年4月 千葉県少年野球連盟表彰

創立以来、166名の部員を修了生として送り出し、現部員数34名(内6年次部員5名含む)で活躍されています。又、チームとして創立以来、桜台自治会のあらゆる年間行事に積極的に参加され、盆踊り・体育祭・ソフトボール大会・清掃行事に部員をはじめコーチ、父兄の参加を呼び掛け代表として自治会活動に協力されてきました。その功績を評価し感謝の意を表したいと思いません。

且股美津子氏 [かつまた みつこ]

《活動経歴》

民生委員；4期12年間(昭和58年～平成7年)
更生保護婦人会；4年間(平成7～9・12年～)
表彰；平成4年『県民生児童委員協議会会長賞』
平成5年『千葉県社会福祉協議会会長賞』
平成7年『厚生大臣・県知事・市原市長より感謝状』

《推薦のことば》

昭和58年12月、御主人の理解も得て桜台として初めて1・2丁目の民生委員を厚生大臣より委任され、世話好き、責任感の強さという性格の良さが幸いして以後4期12年もの長期に亙り民生委員の活動をされてきました。その後も周りに推されて更生保護婦人会で活動され現在は有秋支部副会長として活躍されています。

民生委員という活動は、世話する人のプライベートな事柄は全て守秘する義務があるということから、家族にも話せない色々な苦労があっ

たと推察されますが、且股さんは『人とのつきあい、制度上の改善等苦勞もありますが、常に前向きに取組み、改善、解決していくことで、自分自信の勉強にもなったし、成長させていただいたと思います。またまだこれからも第一線で頑張りますよ』とおっしゃっておられました。

長い間、桜台自治会を陰から支えてこられた事、又これからも高齢化の進む中で良きアドバイザーとして協力していただくことに対して感謝の意を表したいと思いません。

秋元 實氏 [あきもと みのる]

《活動経歴》

昭和43年 通商産業省退官

昭和56年 桜台4丁目理事。同年、桜台老人会(長寿会の前身)に入会

以後、老人会の役職を歴任され、老人クラブボランティア『桜クラブ』会長を3年、さらに平成8年から、桜台老人会(現；桜台長寿会)会長を約3年半務められ、その間、桜台自治会の事務長を兼務され、平成11年4月から4代目桜台自治会会長として平成12年1月転居されるまで務められました。

《推薦のことば》

昭和56年桜台入居と同時に豊かな見識と思いやりのある人柄を買われ自治会4丁目理事を引受けられると共に桜台老人会に入会され以後18年間の長きに亙り老人会の指導的役割を果たされてきました。又、老人会のボランティア団体である桜クラブにおいても要職を歴任され、公園の草刈り、自治会館内外の清掃等の奉仕活動を率先実施されてきました。長い間、長寿会等を通じて桜台自治会を支えてこられた事に対して感謝の意を表したいと思いません。



桜台自治会創立20周年記念行事プログラム

◇ 開催日時 2000年11月26日(日) 10:00~14:00

◇ 開催場所 有秋台南小学校 体育館

第一部 (式典) [10:00~11:00]

司会; 池田実行委員

開会の辞

古月実行委員長

自治会長挨拶

和田会長

来賓者紹介

来賓祝辞

市長挨拶

松野衆議院議員

武阜会議員

高木市議会副議長

有秋地区連合会副島副会長

地域活動功労者への感謝状贈呈

閉会の辞

古月実行委員長

第二部 (敬老祝賀会) [11:00~14:00]

司会; 藤田実行委員

開会のことば

司会者

仕舞

西山様

遊戯

みのり幼稚園

マジックショー

綿志様他1名

踊り

蓮池会

大正琴

大正琴同好会

合唱

有秋中合唱部

踊り

一秀会

器楽演奏

有秋中吹奏楽部

閉会のことば

司会者